

災害への備え再認識 防災冊子改訂版を発行

弦打校区自主防災会連絡会および弦打校区コミュニティ協議会防災部会などでは、香川県防災士会西ブロックの会員有志の協力を得て、防災冊子「弦打防災—地震・水害—2024年改訂版」(86ページ)を作製しました。

危険度や被害想定拡充

今回の改訂版では、校区内の地理的特性や歴史などを踏まえた災害の危険度や被害想定、必要な備えなどの情報を大幅に拡充しました。

地震編では、南海トラフ巨大地震を想定した各種ハザードマップを掲載しているほか、家の耐震や家具類の固定を推奨し、避難方法や避難場所なども記しています。また、水害編では、平成16年の台風で大きな被害を受けたことを教訓に、香東川、本津川が氾濫した際の浸水深や浸水継続時間、気象情報ほかの入手方法、避難行動のタイミングなどを記載しています。両編とも自宅の危険度を認識するための「防災カルテ」や、災害時の避難行動を事前に決めておく「マイ・タイムライン」が作成できる構成になっています。

本冊子は5千部作製し、連合自治会に加入する自治会加入世帯には1冊無償配布し、自治会未加入世帯などの購入希望者については、弦打コミュニティセンターで販売をしています(1冊300円)。さらに、協賛していただいた事業所にも配布いたしました。

今後は自治会単位での防災冊子の説明会や、学校及び各種団体での説明会開催を進め、防災訓練など、さまざまな機会でも活用する予定です。また、本冊子が学校での防災学習や、災害弱者のいる介護事業所などでの防災対策、事業所の事業継続計画などにも活用されることを期待しています。弦打校区は南海トラフ地震による被害、河川氾濫による浸水被害な



「弦打防災2024年改訂版」の表紙
災害の危険度や被害想定、備えなどの情報を大幅に拡充した

どとともに非常に甚大な被害が想定されています。

本冊子の作製を契機として、平時における防災知識の習得や準備などの対策を進めることで、弦打校区の防災力向上につなげていきたいと思ひます。

作品展示 ステージ学習発表

バザー・フリーマーケット

弦打文化祭

10月27日(日)9:00~15:00

地区ふれあい交流事業

弦打小学校体育館



「人にやさしい弦打目指して」 6年度コミ協総会

令和6年度弦打校区コミュニティ協議会総会が、6月24日開催されました。「心のこもった人にやさしいまち『つるうち』を目指して」をスローガンに、主な活動として、地域まちづくり交付金事業として▽敬老会事業▽つるうち夏・冬のまつり事業▽地域ふれあい交流事業など16事業、6百93万2千200円。ほかにコミュニティプランの見直しなどが提案され、採択されました。



弦打校区コミュニティ協議会総会後に川崎正視会長(左)から大西輝清前会長に感謝の花束が贈られた

新会長に川崎正視さん選出

役員改選では会長を12年間務められた大西輝清さんから、川崎正視さん(コミ協副会長・生涯学習部会長)への交代、新副会長に松浦一郎さん(青少年育成部会長)などが選出されました。

◆令和6年度弦打校区コミュニティ協議会役員(6月24日) =敬称略

会長(生涯学習部会長)川崎正視▽副会長 藤村芳信▽同(青少年育成部会長)松浦一郎▽理事(交通安全防犯部会長)伊

狩未来▽同(保健福祉部会長)川股啓護▽同(環境美化部会長)住谷篤志▽同(防災部会長)山口周三▽同(スポーツ部会長)森綾子▽同(広報部会長)藤村豊博▽同(事務局長)英和明▽同井上庄司▽同 末澤修治▽同 春田敬司▽同 春田まゆみ▽同 引田光俊▽同 山崎佐由美▽同 池尻保彦▽同 西村直樹▽同 根本幸子▽会計 田中克幸▽書記 横井藍子▽同 岡本有加里▽監事 松村隆広▽同 安井美恵子

去る6月24日に開かれた令和6年度の弦打校区コミュニティ協議会総会で、12年の長きに務められていました大西輝清さんに代わり会長に選ばれました。どうぞよろしくお祈いします。

これまではコミ協生涯学習部会長として、年3~4回開催している街歩きの「ふるさと学習探検隊」や地区を挙げての音楽会である「さわやか音楽会」、地区保健委員会の活動である毎月開催の「健康チャレンジ」などに関わってまいりました。今回、さらにコミュニティ協議会全体の調整や取りまとめ役を任されることになりました。

コミュニティ協議会の目的は、地域の課題を協議・検討することに加え、安全安心なまちづくりが求められる活動ではないかと思ひます。中でも、災害に関する地域の対応が求められています。近未来に予想される南海トラフ地震では、震度が6弱から6強と見込まれ、地面の液状化などによる建物の倒壊や津波が予想されています。また、台風や近年増えています線状降水帯が発生しての集中豪雨による洪水浸水が危惧されています。

安全、安心なまちへ 川崎正視

弦打地区は、東西を香東川と本津川に挟まれた地域となっており、ほぼ全域が浸水予想区域となっていて、避難所となっている弦打コミュニティセンター・弦打小学校までもが最大浸水予想1.36メートルとなっています。自治会の加入率が大きく低下し、共助による活動が難しさを増しています。一人暮らしの高齢者などの弱者の避難など、災害の共助による対応が課題でもあります。今までの発想を超える避難計画の検討や避難訓練の実施が求められています。

また、いろいろな行事などを通じての日常活動など、地道な活動による取り組み、人の和・輪づくりが大切と考えています。さらに子どもたちの健全な育成も、地域の未来に向けての課題です。

今年度のコミュニティ協議会の事業計画では、まちづくりの計画であるコミュニティプランの見直しが掲げられています。時代にあったプラン作りへの取り組み、地域福祉の向上につなげればと思ひます。

地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお祈いいたします。

■ストリートダンス入賞 6月23日にサンポート高松大ホールにて「高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ2024主催事業 夢おどるストリートダンスコンテスト」が開催されました。弦打でも「Sister&Ess」(シスターアンドエス)同好会の中高生ダンスチーム「ANDee:prit」=写真=が出場し見事、ジュニアの部特別賞に輝



きました。このメンバーには鶴市町在住、堀金珠羽・漆原匠・漆原亘の3人がいます。勝賀中3年と高松西高校1年になった3人ですが、小さい頃から地元でみんなに応援してもらっているメンバーです。

今後、もっと上を目指して頑張っ、いつの日か弦打のスターになって欲しいと願っています。

地域住民によるまちづくり、生涯学習や地域福祉の推進など、諸活動の場のコミュニティセンター（コミセン）。校区内には弦打コミュニティセンターがあります。同センターの役割や活動の一部を紹介します。

弦打の活動拠点 コミセン

学び・健康づくり

コミセン講座（令和6年度、かつこ内は開催数・予定を含む）

人権学習(1回)▽男性料理教室(3回)▽夏休み子ども工作教室(1回)▽はじめてのスマホ教室(6回)▽ス



はじめてのウクレレ教室

マホ座談会(1回)▽子どもおやつ作り教室(2回)▽子ども音楽体験教室(9回)▽幼児体操教室(9回)▽子ども将棋教室(13回)▽夏休み子どもポスター教室(1回)▽夏休み子ども絵手紙教室(1回)▽セルフお灸&体操教室(2回)▽うたごえ広場(2回)▽音楽で運動を!(9回)▽実践!!自分でできる足うらっこ体操(1回)▽防災学習(2回)▽正月用フラワーアレンジメント教室(1回)▽はじめてのウクレレ教室(9回)▽子ども硬筆教室(2回)▽弦打郷土学習(2回)

弦打コミュニティセンター同好会(4月1日現在)

さわやかダンス▽囲碁・将棋▽ヨー

リフレッシュ体操



ガ▽絵手紙の会▽シスター▽3B体操▽ソーイング▽フラダンス・ブアナニアロハ・モキハナ▽カメラクラブ▽リフレッシュ体操▽子どもフラダンスリコ▽フラワーアレンジメント▽3B体操 はじめの一步▽一榮書道会▽大正琴ひまわり

老若集い愛される場に

弦打コミュニティセンターは、公立小学校、幼稚園、保育所に隣接しており、放課後は子どもたちが宿題や読書をする居場所となっています。老若男女が集い、愛されている場所であると感じますが、コミセンに来たことがないであるとか、何をする所かわからないという声も聞いたことがあります。

生涯学習、まちづくり活動の拠点として、より使いやすいコミセンを目指していますのでたくさんの方にご利用いただけたら幸いです。平成10年に建てられ年数を経たコミセンですが、ここ数年でWi-Fiを整備、また、出張所機能縮小のタイミングでコミセン事務室の場所と出張所の入れ替えなどしています。令和5年度は一般コミュニティ助成事業(宝くじ助成備品)で補助金が採択されコミセンに新しい会議テーブル、大型印刷機、プロジェクターなどを配備することができました。コミセンは常に関係各課等と調整を図りながら、時代に合わせて変化を続けています。

弦打コミュニティセンター

開館 平日・土曜 9時～21時(土曜は17時閉館の場合あり)、日曜 9時～17時

住所 高松市鶴市町356-1

☎087-882-0285

同居組織 高松市勝賀総合センター弦打出張所▽弦打校区コミュニティ協議会▽高松市弦打土地改良区▽高松市中央図書館弦打分室(蔵書数 2千188冊、閲覧・貸し出し可能)

平成18年度に高松市直属の公民館から、弦打校区コミュニティ協議会が市の指定管理を受けコミセンを運営する形となり現在へ続いています。私たち職員は協議会役員をはじめ地域の皆さまとともに、模索しながらも着実に前に進んできました。今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。(弦打コミュニティセンター長・小柳智美)

災害への備え

弦打コミュニティセンターは高松市の指定緊急避難場所になっています。想定収容数は131人。給水基地に指定され、災害時特設公衆電話もあります。防災倉庫=写真=を備え、主な防災資機材、備蓄物資は次の通りです(一部は弦打小学校体育館にも保管してい



ます)。

間仕切りテント▽エアーマット▽毛布▽発電機▽ガソリン缶▽簡易トイレ▽紙おむつ▽生理用品▽タオル▽投光器▽担架▽リヤカー▽救急セット▽感染症対策用品▽移動かまど▽充電器▽カセットボンベ▽アルファ米▽クラッカー▽保存水▽ヘルメット▽救出用機材▽ラジオ▽ブルーシートなど

防災部会

災害の対応力向上へ 地域の団体などと連携

弦打校区コミュニティ協議会防災部会は、地域内のさまざま組織・団体と連携して、災害対応力の向上を目指して、防災活動を展開しています。

平常時には、大規模な災害に備えて、防災知識の普及や啓発、情報伝達体制の整備、防災資機材の点検や整備、備蓄物資の整備、防災訓練の実施などを行っています。また災害時には、地域住民の安全確保のため、弦打校区防災本部を組織して、市の災害時指定職員と協力して、安否確認や災害状況などの情報収集や伝達、できる範囲での救護、避難者の受け

入れなどの避難所の運営を行います。

今年度は新しく作成した防災冊子「弦打防災2024改訂版」を地域の皆さんに知っていただくために、自主防災会連絡会と協力して、単位自治会・自主防災会での説明会実施や、弦打小学校との防災学習協力など、さまざまな機会をとらえて地域全体の防災力向上を図っていきたくと考えています。

部会の開催は、月1回 原則第3月曜日に開催しています。地域での防災活動に興味があり、活動してみようと思われる方はぜひ参加下さい。＝写真は、防災部会の活動の様子

防災部会長 山口 周三

部会員 25人

部会構成員 単位自治会、単位自主防災会、民生委員・児童委員、弦打小学校PTA、弦打駐在所、消防団弦打分団、香川大学、一般の地区住民など



さわやか音楽会 第7回弦打さわやか音楽会が2月4日弦打小学校体育館で開催されました。コロナ禍が続く寒い日にもかかわらず、熱気あふれる好演＝写真＝が大勢の聴衆を魅了しました。

出演は、弦打小学校3年生、琴伝流大正琴松風会、琴伝流大正琴ひまわり、クーと丸、佐藤純子、みんせいず、弦打校区コミュニティ協議会生涯学習部会の7団体・個人でした。

橋川天晴、クリスタルハーモニー ジャズ オーケストラがゲスト出演し会場が大いに盛り上がりました。



松浦一郎さんに感謝状 弦打校区コミュニティ協議会の松浦一郎さんに2月16日、高松市長から感謝状が贈られました。多年にわたり同協議会の青少年育成部会長などとしての活動がたたえられました。

弦打スポーツレクリエーション祭 3月24日、弦打体育協会主催でスポーツレクリエーション祭が弦打小学校体育館で行われました。「ニュースポーツ・パラスポーツを体験しよう」をテーマに、年齢、性別、障害があるなしにかかわらず、どなたにでもできるスポーツを体験しつつ、健康と親睦、コミュニケーションを目的に実施されました。

実施種目は、ボッチャターゲット＝写真＝、アジャタ、アキュラシー、輪投げ、

フロアボールで、50人近くが参加し、慣れるに従って和気あいあいと楽しく元気にこれらのスポーツに親しんでいました。



弦打体育協会主催アジャタ大会 (2月25日・弦打小学校体育館) 一般の部①川股チーム②体協Aチーム③西村チーム▽ファミリーの部 ①スポーツ少年団バドミントンC②同B③同A

弦打校区自治会対抗ゲートボール大会 (3月20日・香東川河川敷) ①定木自治会②青木自治会③郷東自治会